

コミニカ英語教材(基礎編)

1年 第3級

① 「時・場所・状況」の表現	[学習]	… 3 ~ 4
CD ② 「時」表現に関するもの	[語順]	… 5 ~ 6
CD ③ 「場所」表現に関するもの 1	[語順]	… 7 ~ 8
CD ④ 「場所」表現に関するもの 2	[語順]	… 9 ~ 10
CD ⑤ 「状況」表現に関するもの その他の前置詞	[語順]	… 11 ~ 12
⑥ <～は どうする文> 疑問詞what・who	[学習]	… 13 ~ 14
CD ⑦ <～は どうする文> 疑問詞what	[語順]	… 15 ~ 16
CD ⑧ <～は どうする文> 疑問詞whatの応答文	[応答]	… 17 ~ 18
CD ⑨ <～は どうする文> 疑問詞who	[語順]	… 19 ~ 20
CD ⑩ <～は どうする文> 疑問詞what+名詞の疑問文	[語順]	… 21 ~ 22
⑪ 疑問詞のいろいろ	[学習]	… 23 ~ 24
CD ⑫ 疑問詞のいろいろ 疑問詞where・when	[語順]	… 25 ~ 26
CD ⑬ 疑問詞のいろいろ 疑問詞how	[語順]	… 27 ~ 28
CD ⑭ 疑問詞のいろいろ 疑問詞 総合	[語順]	… 29 ~ 30
CD ⑮ 疑問詞のいろいろ 疑問詞where・whenの応答文	[応答]	… 31 ~ 32

【学習の手引き】

- (1) 「学習」の項目は、プリントをよく読んで理解しましょう。
- (2) 「語順」「英作」「応答」などの項目では、声を出しながら問題を解き、英作文にチャレンジしよう。
- (3) なれてきたら、完成文だけを書いてもいいです。
- (4) 完成文まで書き終えたら、あなたが作った英文をネイティブスピーカーはどう発音するか、CDで何度も聞き、あなたも後について読みましょう。
- (5) 各級を終えたら、今度はCDだけ聴き、日本語の読み上げに続いて、すぐに英語で言ってみましょう。

Copyright (c) by Nakajima Taichiro

First Edition 1989 Second Edition 2001 Third Edition 2009

【ご注意】当教材は個人使用に限り、コピーを許可しています。

塾や学校及びグループで使用される場合は、必ず当研究会の許可を得てください。
もし無断で使用された場合は、著作権の侵害となります。

単語表 1年3級で登場する単語

【動詞など】

□□来る	come [カム]
□□(宿題などを)する	do [ドゥー]
□□食べる	eat [イート]
□□得る・到達する	get [ゲット]
□□行く	go [ゴウ]
□□食べる・有する	have [ハアプ] cf. eat
□□飼う・有する	have [ハアプ] cf. keep
□□手伝う	help [へるプ]
□□知っている	know [ノウ]

□□魚	fish [フィッシュ]
□□試合	game [ゲーム]
□□手	hand [ハハンド]
□□授業・課	lesson [れスン]
□□昼食	lunch [ランチ]
□□朝	morning [モーニング]
□□夜	night [ナイト]
□□昼	noon [ヌーン]
□□写真	picture [ピクチャ]

□□好む・好きだ	like [らいク]
□□住む	live [リブ]
□□作る	make [メイク]
□□(スポーツなどを)する	play [プレイ]
□□遊ぶ	play [プレイ]
□□走る	run [ラン]
□□見える	see [シー]
□□歌う	sing [シング]
□□スケートをする	skate [スケイト]
□□スキーをする	ski [スキー]
□□滞在する	stay [スティ]

□□ポケット	pocket [パケット]
□□プレゼント	present [プレゼント]
□□川	river [リバア]
□□のこぎり	saw [ソウ]
□□歌	song [ソング]
□□通り	street [ストリート]
□□夕食	supper [サパ]
□□テレビ	television [テレビジョン]
□□散歩・歩き	walk [ウォーク]
□□冬	winter [ウインタ]

□□勉強する	study [スタディ]
□□泳ぐ	swim [スウィム]
□□連れていく	take [テイク]
□□使う	use [ユーズ]
□□欲する・ほしい	want [ワント]
□□(テレビなどを)見る	watch [ワッチ]
□□洗う	wash [ワッシュ]
□□働く	work [ワーク]
□□書く	write [ライト]

【形容詞など】

□□欠席の	absent [アブセント]
□□寒い	cold [コウルド]
□□暗い	dark [ダーク]
□□熱い	hot [ハット]

【副詞など】

□□～頃に・およそ	about [アバウト]
□□～の後	after [アフタ]
□□1人で	alone [アルウン]

【名詞など】

□□午後	afternoon [アフタヌーン]
□□ベッド	bed [ベッド]
□□ボウル	bowl [ボウル]
□□朝食	breakfast [ブレイクファスト]
□□都市	city [シティ]
□□顔	face [フェイス]

□□いっしょに	together [トゥゲギ]
□□～の前	before [ビフォー]

1年・第3級①	確認学習	評価 A・B・C
課題 <～は どうする文> 時、場所の表現		学習日__月__日

アイ ハーブ サム ブックス イン マイ ハンド

【基本文】 *I have some books in my hand.*

私は手に本を数冊持っています。

[1] 場所表現とは？ 場所をあらわすフレーズ

何かを持っているなら、「どこに」持っているか、住んでいるのなら「どこに」といったように、場所をあらわすのが場所表現です。

場所表現には、副詞と前置詞+名詞の形があります。

there	そこに
over there	あそこに
in one's hand	手に
in one's hands	両手に
near the park	その公園の近くに
to the park	その公園に
from America	アメリカから



She has a cat in her arms.

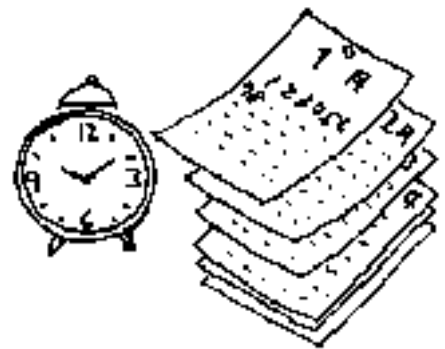
彼女はうでにねこをだいています

[II] 時表現とは？ 時をあらわすフレーズ

テニスをするなら、「いつ」するのか、あるいは勉強するなら、「いつ」勉強するのかなど、時をあらわすフレーズです。

場所表現には、副詞と前置詞+名詞の形があります。

every morning	毎朝
every day	毎日
every week	毎週
every month	毎月
at six	6時に
about six	6時ごろに
on Sunday	日曜日に
in the morning	午前中に
in the afternoon	午後に
in the afternoon	午後に
at noon	昼に



He comes here at seven.

彼は(ふだん) 7時にここに來ます

[Ⅲ] 状況表現とは？ 状況をあらわすフレーズ

遊ぶなら、「だれと」遊ぶのか、走るなら、「だれと」走るかなどをあらわすフレーズです。この表現には、副詞と前置詞+名詞の形があります。

alone	1人で
together	いっしょに
with her	彼女といっしょに
with my friends	友だちといっしょに

前置詞+代名詞となる場合は、その代名詞は、me, us, you, her, him, themなど目的格のものをつかわなければなりません。



I run with him.

私は彼といっしょに走ります

[Ⅳ] 一般動詞の文とbe動詞の文の区別ができますか？

I am from Osaka. ①

I come from Osaka. ②

ともにfrom Osakaがつかわれていますが、この意味は「大阪から、大阪を起点として」です。

言うまでもなく、be動詞(ここではam)は「存在」をあらわし、comeは「来る」という行動をあらわします。

そこで、①の文では、「大阪を起点として今、存在している」ということで、「私は大阪から来ました」「大阪出身です」などの意味となります。

一方、②の文は、「大阪を起点としてここに来る」と、動きに力点が置かれています。つまり「彼はいつも大阪から来ます」といった意味となります。

ここで大切なことは、日本語と英語の発想とはことなっていて、あまり日本語の訳に惑わされないことです。

I am with Pochi.

私は(ふだん)ポチといっしょにいます

I go with Pochi.

私は(ふだん)ポチといっしょに行きます

